宮城舞台技術者協会 第４回運営委員会　議事録

日時	2021 年　12 月　7 日　10 時 30 分 ～ 12 時 00 分	場所	株式会社東北共立　ミーティングルーム

議題

・事業部会より「公演廃棄釘等金属回収事業実施内容について」
・各部会より報告
・事務局より備品購入について
・各種講習会の開催について
・今後の予定確認

出席者

岸浪行雄	菊地孝	石井忍
中鉢典男	小宮芳紀	関紀子
伊藤幸夫（事務局）	小林道子（事務局）	斎藤環江（事務局）

運営委員、事務局 9名

決定事項

■全照協さんと講習会について

全照協さんとの打ち合わせをし、２月～３月の火曜日、水曜日で開催できる日程をつめます。

■公演廃棄釘等金属回収事業実施内容について

各会館への依頼文書を作成し、岸浪代表、石井事業部会長が説明、お願いをする。

回収品目は、スタート時は釘、ビス、弦とし、状況を見ながら対応する。

■事務局用PC、プリンターを購入致します。

■各部会より報告

◎照明部会より

講習会の参加について希望がありました。足場、フルハーネスの受講参加資格について確認させていただきたい。

次年度の活動について、具体化したものが欲しい。少数精鋭で動ける体制づくりができたらいいのではないか。

→全照協さんのHPに受講金額が表示されておりますので、各社必要な予算等ご確認ください。

→全照協さんとの打ち合わせをし、２月～３月の間で開催できる日程をつめます。

◎舞台部会より

橋本舞台部会長欠席のため、伊藤事務局員よりお預かりした報告書を報告する。別紙参照

→②に関しては、照明部会の報告と重ねてご確認いただきたい。

→③に関しては、事業部会の報告と重ねてご確認いただきたい。

→⑤に関しては、昨年度の市や県への陳情以外活動しておりませんので、これからの活動を通して少しずつ認知していただけるよう活動してまいりたい。

会議内容

◎事業部会より

事業部会としては、これまで7月と10月に部会を開催し、SDGsの取り組みに向け、活動してきた。

公演廃棄釘等金属回収事業実施内容について、引き続き具体的に進めていきたい。

■公演廃棄釘等金属回収事業実施内容について

設置場所については、公文協に依頼せず、協会員が管理する会館に、岸浪代表と石井事業部会長が説明に伺い、お願いする。

回収方法は、各会館のスタッフ（協会員）が、指定場所に運ぶ。まずは、釘、ビス、弦のみの回収とする。

指定場所候補として（あくまでも希望願い）フォーバックス様、東北共立様、いかがでしょうか。

■事務局より

PC、プリンター等の事務用什器備品の購入について

ノートPCにして、所在は、告知したのち、事務局員の預かりとし、管理する。

■各種講習会について

照明部会の報告と重複するが、火曜、水曜を希望とする。２月、３月で全照協の候補日を確認する。

■会員交流、親睦会について

総会後に親睦会等を開催する形でいかがでしょうか。幹事は、小宮運営委員に依頼。

■その他

令和４年度活動案について

・SDGsの活動を本格的に開始する。

・障害者の方々のコンサート等のバックアップを行なっていく→もう少し時間を必要とする

・１月 → 理事会：これまでの議事録内容をまとめて報告する。

・２月 → 定時総会

理事会　　→ 令和４年　１月１８日 １３時３０分～（株）東北共立 ラボにて

定時総会　　→ 令和４年　２月１５日 １４時００分～　場所は後日決定とする

第４回運営委員会次第

開会　事務局
挨拶

報告事項
①各部会
　照明
　音響
　舞台
　事業

②令和３年度会費徴収について

議題
①劇場、ホールでの舞台からでる曲がり釘等の回収について

②PC、プリンター等の事務用什器備品の購入について

③各種講習会について
　ハーネス（NHK 仙台　1/28？局員向け講習予定）
　足場
　安全
　その他

④会員交流、親睦について

⑤その他
　令和４年度活動案について
　令和３年度総会議案：：：来月理事会資料
　総会日程　令和４年２月 15 日

宮城舞台技術者協会
舞台部会ミーティングレポート

事務局よりご指示があった「委員会 12 月 7 日開催前の各部会ミーティング」につきましては
部会メンバー6 名参加のミーテイング開催が困難であったため、部会委員の意見書を取り纏め
舞台部会ミーティング結果として提出させていただきます。

1/当該市場の現状としては、コロナの緊急事態宣言解除や各種催事の入場制限緩和に伴い案件依頼が微増してきていると感じる。

2/第 3 回運営委員会にて協議された「足場講習」及び「フルハーネス講習」「安全研修」について開催日程や講習参加費の個人負担を含め詳細情報を提供してほしい。

3/当協会が参画する「SDGs」についてはお知らせをいただいておりますが、完全な実施タイミングはいつになるのでしょうか。
現在、溜め込んでいる釘・ビス類などの処分に困っております。

4/本年度に協議された「宮舞協事業計画」については令和 4 年実施に向け、準備にとりかかる事になるかと思いますが、コロナ禍前の市場活性を想定するとフリーランスグループにはその参加が難しいと推察されます。計画実施内容の詰めはこの先になるかと思いますが、実施規模は全員が参加できるように縮小していただくことを希望します。

5/協会創立から 3 年目を目前に控え、協会実績と呼べる活動内容は浅いというのは認識しておりますが当協会は、行政や経済界及びこの業界においてどの程度認知されているのでしょうか、現在の立ち位置を教えてほしい。

以上

平成 3 年 12 月 2 日(木)

宮城舞台技術者協会　舞台部会部会長
橋本　徳郎

MSEA
Miyagi Stage Engineer Association

宮城舞台技術協会 SDG'S 部会からの御提案

予てより議題案に上っておりました「ダメ釘」集めを皆さんに御検討頂く為の素案を箇条書きに致します。

1、【目的】　改めて申し上げるまでもなく、私達の業態は大小の廃棄物と電力の消費の上に成り立っております。残念ながらそのマイナス要素をゼロにする事は出来そうに有りません。ですがそのマイナス要素を生み出さざるをえない代わりに何らかのプラス要素の社会への還元を模索する事は出来る[やるべき]ではないかと考えます。現時点でその最適な事業が「ダメ釘集め」だと思われます。

2、【理由】　最適と思われる理由ですが、昨年来コロナ禍に依る仕事の減少と減収、そして今年になってからの仕事の回復傾向に伴う繁忙の中に皆さんいらっしゃると思います。砕けて言えば「借金返しで忙しい」となるでしょうか。その様な状況の中で更に時間とお金が掛る事業に取り組む事は誰も望まない事でしょう。しかし「ダメ釘集め」であれば、どこにダメ釘があるのかを皆さんがご存知ですし、その事業の実行の為に初期投資するお金は抑えようと思えば0円でも始められるかと思います。

3、【イメージ】　舞台と釘、コンサートとギター弦と言うのは一般社会の皆さんにもその繋がりをイメージしてもらい易いと思います。そう言った象徴的なゴミを有益な物に変換して社会に還元する事業だという事を協力して頂ける方々・マスコミ・社会にメッセージとして発信して行く事も必要だと思います。

4、【具体策】　では具体的にはどの様に事業展開して行けば良いかを皆さんと検討する叩き台的な物を列記したいと思います。

① 収集依頼先の選定
② 依頼文[趣意書]の作製と配布
③ 収集物の内容
④ 収集する入れ物の選定と準備
⑤ 回収の作業分担と時期

⑥ 回収した物の集積場所と入れ物
⑦ 産廃業者の選定と換金の詳細
⑧ 収益金の使途
⑨ 協力者・関係各位・マスコミ等への報告作業
⑩ その他

以上になります。
闊達な御意見を宜しく御願い申し上げます。

SGD'S 部会